

平成17年度 中体連春季剣道大会

気は早く 心静かに 身は軽く

目は明らかに 袴は静しく



団体女子 中尾中 男子は高松中
 ☆☆共に春を連覇☆☆
 男子個人 今井 (高南)
 女子個人 矢野 (大類) 優勝



男子団体優勝：高松中のみなさん

平成十七年四月十九日ゴールデンウイークの初日寺尾中体育館で平成十七年度高崎市中学校春季体育大会剣道大会が開催されました。男子十六校、女子十三校の剣士達が熱戦を繰り広げました。春の大会は新



女子団体優勝：中尾中のみなさん

しい選手に巡り逢えるので非常に楽しみにできる大会でもありません。開会式では中体連剣道部会長寺尾中学校長先生が「試合ですから当然勝つことが目標。その目標に向けて一杯頑張ってください」と挨拶されました。高松中キャップ城田君の選手宣誓のあと四試合場



寺尾中学校校長先生：目標に向けてと挨拶

第15号
 発行場所 高崎市石原町
 高崎武道館内
 発行責任者 剣道連盟 高崎支部
 広報担当 上條

- 大会結果
- 【団体戦男子】
 - ① 高松中
 - ② 大類中
 - ③ 塚沢中
 - ④ 長野郷中
 - 【団体戦女子】
 - ① 中尾中
 - ② 片岡中
 - ③ 高南中
 - ④ 倉賀野中
 - 【個人戦男子】
 - ① 今井 (高南)
 - ② 竹内 (大類)
 - ③ 得居 (高松)・中澤 (中尾)
 - 【個人戦女子】
 - ① 矢野 (大類)
 - ② 市川 (片岡)
 - ③ 庭屋 (倉賀野)・須藤 (中尾)

に別れて団体戦が始まりました。団体戦男子はこ常勝高松中を崩せるか、女子は中尾中復活なるか、こんなところが見所でした。そして男子高松中は初戦から快適に跳ばし勢いは最後まで衰えることはありませんでした。先鋒次鋒が昨年よりさらに磨きをかけチーム全体としても大きく成長しているように見受けられました。決勝で大類中と対戦です。先・次・中と快進撃で早くも試合を決めました。副将城田は元村と対戦。元村選手は妖剣タイプ。正攻城田なかなかやりずらそう。そうこうしているうちに気がつくと城田面を二本奪われてしまう。大類中元村選手快勝です。この一勝はこ



奮戦元村 (大類左)

れからの自信につながったのではないのでしょうか。大将戦は丸山対竹内。竹内選手大柄な丸山選手のお小手を奪い一本を決めて大将戦を制しました。大類中善戦でしたが高松中の勢いにもう一步追いつかなかったようです。三位に塚沢中、四位に長野郷中が入賞です。女子団体戦は予想通り中尾中と片岡中が上がってきました。昨春秋、市民大会で片岡中に王座を奪われてしまった中尾中。奪回に奮闘して冬猛稽古でとうとう

てきました。昨春秋、市民大会で片岡中に王座を奪われてしまった中尾中。奪回に奮闘して冬猛稽古でとうとう



健闘を讃え合う仲間。師。親：中尾中

思いです。三位には高南中、倉賀野中が入賞しました。個人戦は男子女子とも上位陣は誰が優勝しても不思議はないほど実力伯仲です。男子は高南

やりました。この日に賭けてきた中尾のみなさんの情熱が見事片岡を下し決勝戦を制しました。片岡中も高崎武道館へ通ったりして頑張ってきました。夏は夏の少しの差でしたがほんの少しの差でした。夏の賜杯奪回に向けてまた頑張ってください



中の今井選手と大類中の竹内選手が決勝対決です。竹内選手は勝利すると昨年春に続く連覇となるが、互いに手の内は知り尽くしているふたり。中島道場の同朋でもある。膠着



座しても残心：決勝今井竹内戦

決勝です。この二人も中島道場同朋。



ひそひそばなし：あいや激突

状態が続くなか延長戦、今井得意の引き面技をしかける。これが小柄な竹内選手の面にうまくのり大きく引いた。この技に審判旗が高揚し決勝戦は今井選手が制しました。女子は大類中矢野選手そして片岡中市川選手が



女子決勝：矢野市川戦

互いに知り尽くしている仲です。冷静に立ち回る市川選手だが、これを積極的に攻め続けた矢野選手が延長戦で面技を決め市川選手を下し優勝しました。今回も大変数々の熱戦を観させてもらいました。熱戦といえども春の始まりのはずなのにこの日は大変暑い日で

なると朝から汗、汗汗。審判の先生方もジャケットからワイシャツへ堪忍。こんな日に剣道をしたんだから選手達も大変だったろう。最近騒が



残心を追う

も開発に絡んで減少しているいま私達の地球号は薄い真綿でつつまれているようなものではないでしょうか。

このまま温暖化が進むと剣道も暑くて熱くてやっつけられないことになってしまいかも。厚い胴着そして防具の着



装。まるで草原の雄ライオンのようにです。ライオンといえどオスライオンは狩りをしない。(種族によっては狩りをする)と一般的に言われております。縄張りの防衛と種族保存が雄の役割と言われているようです。でも先にテレビの動物番組で報道してました。雄ライオンと雌ライオンは体温が異なります。雄ライオンの方が高いので激しい継続運動の必要な狩りは雌ライオンの役目なのだそう

です。まあ暑さと生息はこのように密接に絡んでいるのだからこれ以上地球が熱くなつては大変。はだか剣道をやるようになってしまいました。様になりませんよね。私達も地球温暖化問題を考え、それぞれのできることを実践していかなくてはならないでしょう。美しい剣道と地球を後世へ伝えていかなければ。CO2CO2と。

☆☆☆☆道場連盟☆☆☆☆
群馬県少年剣道錬成大会
中島道場 中学生の部 準優勝
 小学Aの部 三位入賞
金井道場 三回戦進出 大健闘



準決勝(対白沢)：代表戦で臨む中島道場



大健闘：金井道場

小学生A第3位入賞：中島道場



五月八日、ぐんま武道館で第二十九回群馬県少年剣道錬成大会が開催されました。この大会は夏に日本武道館で行われる全日本少年剣道錬成大会の予選もかねています。高崎支部からは七つの道場が出場しました。すべて団体戦で小学生A同Bそして中学生の三部門で行われました。多く

で頑張ってくれました。中学の部で準優勝。決勝は沼田剣桜会を相手に僅差の惜敗。そして小学生Aの部で第三位に入賞しました。またこの大会で平成十六年度優秀剣道少年団として錬武館金井道場が連盟から表彰されました。

のチームが一回戦、二回戦と散っていきました。そんな中で健闘したのが小学生Aの部で金井道場です。三回戦へ見事進出しました。そしてやはり中島道場が最後まで

☆平成17年度☆ 群馬県高校総体 剣道大会

女子個人・団体戦 高崎勢断然大活躍



団体女子健大高崎が二年連続優勝 ☆☆☆決勝常磐を相手に快勝☆☆☆ 高女、農二男子 共に第三位入賞



準決勝 高女飯塚戦に臨む角田



準決勝戦へ臨む健大高崎のみなさん

五月七日、十四日そして十五日の三日間の日程で平成十七年度群

馬県高校総合体育大会剣道大会がぐんま武道館で開催されました。昨年は前橋商業高校の体育館で開催されたが今回はぐんま武道館です。選手達もサポーターのみなさんもひろびろの快適会場です。一週間に中学生の大会を見聞きしたが、さすが高校生ともなると防具などの着装や立ち居振る舞いが大人びてきているなど感ぜられました。どんどん大人へと急成長していくのですね高校生は。でも大きくなればなるほどルールも厳しくなる。面ひもの長い選手はバツサバツサと切られていました。初日は個人戦のベスト4選出です。WOU見せてくれましたね。高崎勢の女子選手達が第一試合場では山



長い面ひもは介錯

と田代（農二）高崎勢同士がコート決勝。スピードにやや卓ると見える飯塚が二本勝ち。田代選手も頑張りました。第四試合場これも高崎勢同士。角田（農二）と一山（高工）。この日これまでに無いくらい好調なまでにベスト8入りした一山選



脇を締めた膝手突きヒット：一山第2戦目

田選手（高女）が大活躍です。狙いをすませ上段から一振りの打突が次々とヒット。決勝トーナメントへ進みました。第三試合場ではなんと飯塚（高女）

大会結果

【団体戦男子】

- ① 前橋西高 ② 常磐高 ③ 前橋高
④ 農大二高 ⑤ 太田商業高

【団体戦女子】

- ① 健大高崎 ② 常磐高 ③ 沼田女子高
④ 高崎女子高 ⑤ 太田商業高

【個人戦男子】

- ① 須永（前西） ② 佐藤（前西）
③ 赤石（前高） ④ 桜井（前西）

【個人戦女子】

- ① 角田（農二） ② 古橋（常磐）
③ 飯塚（高女） ④ 山田（高女）

手、突き技を控える堅い守りにようようと角田選手も得意の面打ちによる攻めができません。延長戦も3回目にもおよび。角田、互いの体の離れ際に思いきって素早い引き胸を放ちました。この打突に審判旗が揃い試合を決めました。破れたが一山選手善戦でした。次の立ち合いには大いに期待を抱きたい。その他、重山（高女）山口（商大）も好試合の連続でした。このように女性陣大活躍で観戦する方も右に左にとうれしい悲鳴の連続でした。一方男子は惜しくもベスト4には残れませんでした。元村、今井、渡辺、新井ら農二の選手

達と北野（高高）山田（健大高崎）らが活躍いたしました。

十四日、二日目は団体戦です。女子は高女、健大高崎、商大が、男子は農二、高工、健大高崎のそれぞれ三校がベスト8に入り最終日へと駒を進めました。

十五日、最終日は個人戦の準決勝、決勝と団体戦はベスト8決勝トーナメントです。女子個人戦第一試合場で山田（高女）と古橋（常磐）、第二試合場で角田（農二）と飯塚（高女）がそれぞれ対戦です。山田と古橋、ともに上段。山田思い切つて面を狙うも僅かに浅い。お互いなかなか攻め手見つからず。そんな中積極的に打ち間に入った山田



山田選手上段へ惜しい面打ち：準決勝

の小手に古橋の打突。これが音をたててヒット。審判旗が高揚した。山田選手惜しい立ち合いでした。一方第二試合場の角田、飯塚戦。両者ともスピードを誇る真つ向剣道。お互い精一杯攻め合います。延長更に攻め合います。相面に続く相面互いに得意技で決めたいが

は体も長身振りかざす面は遠くから迫ってきた。体が合わさる。古橋ただでは離れてくれない。引き際鋭い面を放つが不十分。間を入れず負けず角田引く古橋を素早く追つてすかさず渾身の小手技にでる。これがヒットヒツト白の審判旗が高々と示され、き・ま・り・ま・し・た。とうとうT.O. T.O. やりました。トンプランナーです。おめでとう。角田選手の目の覚めるような活躍を楽しく二階観覧から観させていただきました。お父さん（角田芳昭さん）も最終始娘さんの活躍をビデオを



スピードは互角飯塚（左）にもおいしい打突：準決勝



攻めて、せめて、攻めて：角田決勝戦

9月の県高校選手権大会に次ぐ二度目の決勝進出です。今回もウー難しい相手である。古橋選手

片手に見つめていたようです。その光景にはほのぼのですね。お父さんのいまの想いはいかようでしょうか。さて団体戦です。女子は高女と樹徳が対戦。厳しかったがなんとか樹徳を押しベスト4へ進出。商大は沼田と対戦した。



個人戦でも活躍：山口（商大）

山口選手ら奮戦したがわずかに及ばず上位に進めませんでした。健大高崎は太田商業と対戦三ー二でこれを下しベスト4へ。



勢いのある打突を見せる：重山（高女）

準決勝は高女と常磐。ポイントゲッターの飯塚、山田選手が駒を落としてしまい続く重山が奮起するも二ー一で惜しくも敗れ去ってしまう。もう一方は健大高崎と沼田。健大高崎、次鋒新井と大将中根の活躍で何とか凌ぎ決勝へと進出した。

さあ決勝は健大高崎と常磐。健大高崎これまでの我慢の剣道から一気に攻めの剣道一直線。先鋒から副将まですべて



お小手からの面を決める中根（健大高崎）：準決勝戦

一本勝ち、大将も引き分けて負けなしの好成績で賜杯を勝ち取りました。昨年度に続く県総体連続優勝です。中根選手の加入で暫く遠ざかっていた王座への感奮をチームとして取り戻してきたかなって感じます。男子は農二が準決勝で常磐と対戦。先鋒の渡辺が二本勝ちしたものの、そ



第三位を受賞する農大今井キャップ

の後が力量十分に発揮できず三ー一で決勝挑戦の座を譲ってしまいました。もうすぐインターハイ。みんなまた頑張つてよ。

■当回記事予定

- 六月二五・二六日 全国高校総体 予選
- 七月 三日 成年男女国体予選
- 七月 十日 全日本道場対抗予選
- 七月 十七日 中体連夏季大会
- 七月 二三日 全日本少年錬成大会
- 七月 二四日 社会人剣道大会
- 今年度は浜川体育館で開催です

■編集後記

もう六月、梅雨に入っつて半分。梅雨の雨で中学、高校生のみならず春の記録は良くも悪くも一時洗い流し夏の大会へ、高校生はインターハイへ向けてまた青春の一時を録磨してください。またよい試合に巡り会えることをうんと期待しております。 広報 上條